



令和4年第4回区議会定例会 一般会計補正予算第4号

令和4年11月17日
区長定例記者発表

令和4年第4回区議会定例会 一般会計補正予算第4号

歳入歳出予算補正額

12億3,235万円

- | | |
|---|----------------|
| 1.物価高騰から区民生活と区内産業を守り、まちのにぎわいを加速する事業 | 4,783万円(4事業) |
| 2.区民が安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに過ごせるまちを実現する事業 | 1億6,081万円(7事業) |
| 3.いきいきとした自分らしい暮らしを実現する事業 | 2億5,480万円(7事業) |
| 4.区有施設の電気料等を増額する事業 | 7億275万円(110事業) |
| 5.その他の増額事業 | 1億4,568万円(3事業) |

子ども食堂開催等経費の上乗せ補助

補正額 582万円

感染症や物価高騰が長期化する中、子ども食堂が子どもや保護者への支援を継続できるよう、令和4年4月分からさかのぼって開催経費を上乗せして補助を実施

対象団体 7団体

(みなと子ども食堂ネットワークに登録し、令和4年度に月1回以上定期的に活動している団体)

対象経費 子ども食堂の実施に必要な経費全般 (人件費・団体運営費は対象外)

		子ども食堂の開催	配食・宅食の実施	立上げ・拡充
通常補助		24万円	12万円	50万円
上乗せ補助	コロナ	12万円	48万円	—
	物価高騰	12万円	12万円	—
	合計	24万円	60万円	
補助合計		48万円	72万円	50万円

※補助額は年間の上限。実施実績などにより補助額が変わる。

高校生世代の実態調査

補正額 555万円

高校生世代が抱える悩みや不安に寄り添い、子どもたちの育ちや権利が保障される居場所づくりを検討するため、令和5年3月～4月に高校生世代への実態調査を実施。

調査方法 **アンケート調査**: 高校生世代の区民とその保護者(それぞれ約5,000人)にアンケートを送付
ヒアリング調査: 区内高校(5校程度)の教職員と、子ども中高生プラザなどの区立施設(11施設)の職員にヒアリング



調査の結果を令和5年度9月頃までにまとめ、今後の展開について検討！

带状疱疹ワクチン接種費用の助成

補正額 4,336万円

带状疱疹ワクチンの接種にかかる費用を助成

対象者 50歳以上の区民
助成額 生ワクチン 6,500円
 不活化ワクチン 15,000円/1回
開始時期 令和5年1月

不活化ワクチンは
2回接種が必要



オンライン資格確認システムの導入支援

補正額 3,800万円

令和5年4月から原則医療機関で導入が義務化されるオンライン資格確認(マイナンバーカードの保険証利用)システムの導入にかかる経費を助成

? オンライン資格確認とは?

マイナンバーカードのICチップまたは健康保険証の記号番号などにより、オンラインで患者の資格情報(加入している医療保険や自己負担限度額など)の確認をすること

利用には、医療機関が確認用のシステムを導入する必要がある!

しかし

システム導入の経費は高額!
国から補助があるが、全額を補助金で賄うのは難しい...

国の補助金に上乗せする形で資格確認システムの導入経費の助成を実施

対象者 区内医療機関・薬局 (大型チェーンや病院は除く)

助成額 上限10万円 (国の補助金42.9万円に上乗せ) 申請期間 令和5年1月~12月末

